

令和4年度 施策・基本事業マネジメントシート（令和3年度実績に基づく評価）				作成日 令和 4 年 7 月 25 日		
政策体系	基本目標名	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり		施策主管課長	環境政策課
	政 策 名	1	環境にやさしいまちづくり			
	施 策 名	2	良好な生活環境の保全と創出			
施策関係課	市民活動促進課、健康増進課、農山村振興課、都市整備課、道路河川課					櫻井 学

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的 「対 象」	この施策は、誰、何を対象としているか	対象指標		単位	R1	R2	R3	成果指標 設定の考え方	① 河川、側溝、空気、騒音、振動、臭気等の生活環境の状況を市民がどのように受け止めているのかが確認できるため、指標とした。 ②事業活動に伴う公害及び近隣公害の具体的状況を把握できるため、指標とした。 ③環境に配慮した生活をしている市民の割合は、市民の生活環境を大切にする意識の状況を表すため、指標とした。		
	①生活環境(水、大気、土壌、騒音、振動、臭気)	① 市域面積	km	356.04	356.04	356.04					
	②市民	② 市人口	人	118,450	117,706	116,982					
	③事業者	③ 事業所数(経済センサス調査数)	事業所	6,236	6,236	6,236					
		④									
施策の目的 「意 図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか	成果指標(意図の達成度を表す指標)		区分	単位	H30	R1	R2	R3	成果指標の 取得方法	① 市政に関するアンケート調査 ② 環境政策課資料 ③ 市政に関するアンケート調査 ④ ⑤
	①環境汚染を未然に防止し、良好な生活環境を維持する。 ②③環境に配慮した生活、事業活動を行う。	① 生活環境(河川、側溝、空気、騒音、振動、臭気)が良いと感じている市民の割合	目標	%	83.1	83.2	83.3	83.4			
			実績	%	82.1	78.6	79.2	76.8			
		② 公害苦情件数	目標	件	240	237	235	232			
			実績	件	195	155	154	175			
		③ 環境に配慮した生活をしている市民の割合	目標	%	41.0	41.5	42.0	42.5			
	実績		%	33.6	31.7	32.4	35.8				
			目標								
			実績								
			目標								
実績											
目標											

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3	基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3
生活環境の調査・監視の推進	①生活環境(水、大気、土壌、騒音、振動、臭気)	・生活環境が基準値に適合しているか監視する。	① 光化学スモッグ注意報等発令件数	目標	件	3	3	2	2	環境美化活動の推進	①市民 ②事業者	・市民等の自主的な環境美化活動が行われている。	① 環境美化活動功労団体等表彰数(H30年度からの累計)	目標	団体	3	6	9	12
				実績		1	5	3	0					実績		4	4	4	4
			② PM2.5注意喚起発令件数	目標	件	0	0	0	0				② 広報紙、ホームページへの環境美化活動啓発記事掲載件数	目標	件	5	6	7	8
				実績		0	0	0	0					実績		2	2	2	2
			③ 河川の水質環境基準達成率	目標	%	98.5	98.5	99.0	99.0				③	目標					
				実績		98.1	99.0	96.8	96.0					実績					
公害発生の予防と対策の充実	①市民 ②事業者 ③生活環境(水、大気、土壌、騒音、振動、臭気)	・公害の発生を未然に防止するとともに、公害の発生源対策を講じ、良好な生活環境を保全する。	④ 地下水の環境基準達成率	目標	%	100	100	100	100				③	目標					
				実績		99.8	99.8	100	100					実績					
			⑤ 騒音に係る環境基準達成率	目標	%	100	100	100	100				③	目標					
				実績		100	100	100	100					実績					
			① 事業所への立入調査数	目標	事業所	59	59	58	58				①	目標					
				実績		61	26	17	44					実績					
			② 空き地に関する苦情件数	目標	件	135	134	133	132				②	目標					
				実績		102	89	73	67					実績					
			③ 野外焼却に関する苦情件数	目標	件	40	39	39	38				③	目標					
				実績		36	29	32	36					実績					
			④ 飼い犬等のふんに関する苦情件数	目標	件	15	15	14	14				③	目標					
				実績		7	1	20	11					実績					
			⑤ 空き地、野外焼却、飼い犬等のふん以外の近隣公害件数	目標	件	50	49	49	48				③	目標					
				実績		50	36	29	61					実績					

3. 施策及び基本事業の目標達成度評価

施策	令和3年度施策の取組方針			施策の取組方針・成果指標達成状況				
	取組方針	☐ 全て達成 ☒ 一部未達成 ☐ 全て未達成		成果指標	☐ 全て達成 ☒ 一部未達成 ☐ 全て未達成			
	・空き地の適正な管理、犬猫の適正飼養、野焼き禁止等について、一層の啓発を図るとともに、苦情の原因者に対しての指導を強化する。また、県、近隣市等と連携し、特定外来生物による被害を最小限に抑える。 ・河川水、地下水、自動車騒音等の定期的な観測・調査を継続して行うとともに、県と協力し、公害パトロールを実施することにより、事業所から発生する公害による苦情等を未然に防止して、良好な生活環境を維持する。 ・田中正造の日 環境フェスタにおいて、地域の環境美化活動に取り組む団体を表彰するとともに、広報さのや市ホームページで紹介し、市民の環境美化活動への自主的な取組の拡大を図る。 ・いわゆる「ごみ屋敷」の解消に向け、関係機関と協力し指導等を徹底して行う。 ・水道水未普及地域における飲用水の安定確保に向けた支援策を継続する。				【施策の取組方針達成状況】 ・空き地の適正管理、犬猫のふん害防止及び適正飼養、野焼きの禁止、事業活動に伴う公害の防止等、生活環境の保全については、広報さの、市ホームページにおいて啓発を行うとともに原因者への指導等を行った。 また、県と連携し、特定外来生物の防除方法を学び、被害を最小限に抑えるための防除指導を行った。 ・環境美化活動功労表彰は新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかったが、環境美化活動について市ホームページ等で紹介し、啓発を行った。 ・いわゆる「ごみ屋敷」に関する条例の運用を図るため、佐野市生活環境保全庁内連絡会議設置要綱を制定するための素案を作成した。 【成果指標達成状況】 ・公害苦情件数は175件で目標を下回り、達成することができた。 ・生活環境が良いと感じている市民の割合、市民の生活環境を大切にする意識の指標は目標を下回った。			
基本事業	基本事業名	令和3年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況		基本事業名	令和3年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況	
	生活環境の調査・監視の推進	・環境汚染の未然防止や安全な生活環境の保全を図るため、水質調査(河川水・地下水)、騒音調査(自動車騒音)、放射能観測(空間放射線量)などの定期的な観測・調査を行うとともに、大気汚染や土壌汚染等についても、常時、汚染状況の監視を行い、市民の安全を図る。	取組方針	☒ 全て達成 ☐ 一部未達成 ☐ 全て未達成	環境美化活動の推進	・田中正造の日 環境フェスタにおいて、地域の環境美化活動に取り組む団体を表彰する。	取組方針	☐ 全て達成 ☐ 一部未達成 ☒ 全て未達成
			成果指標	☐ 全て達成 ☐ 一部未達成 ☐ 全て未達成		・表彰団体の取組みを広報さのや市ホームページで紹介し、市民の環境美化活動への自主的な取組の拡大を図る。	成果指標	☐ 全て達成 ☐ 一部未達成 ☒ 全て未達成
			【基本事業の取組方針達成状況】				【基本事業の取組方針達成状況】	
			・河川水、地下水、自動車騒音、空間放射線量等の定期的な観測・調査を行うとともに、無許可、許可済の土砂等の埋て現場を定期的に監視を行った。				・新型コロナウイルス感染症対策により、田中正造の日 環境フェスタは開催中止となった。	
			【成果指標達成状況】				・環境美化活動について、ホームページ等で紹介を行った。	
			・河川の水質環境基準達成率96.0%が目標未達成となったが、1項目以外は、成果指標の目標を達成した。				【成果指標達成状況】	
							・新型コロナウイルス感染症対策により表彰式ができず、結果として啓発記事掲載件数也未達成となった。	
	公害発生の予防と対策の充実	・空き地の適正な管理、犬猫の適正飼養、野焼きの禁止等の生活環境の保全について、広報さのや市ホームページ、チラシの配布により啓発を行うとともに、苦情の原因者に対しての指導等を行う。また、事業所から発生する公害を未然に防止し、良好な生活環境の維持を図るため、県と連携しての公害パトロールを強化する。	取組方針	☒ 全て達成 ☐ 一部未達成 ☐ 全て未達成			取組方針	☐ 全て達成 ☐ 一部未達成 ☐ 全て未達成
		・特定外来生物に関する情報提供を行うとともに、県や近隣市、関係機関と連携し、駆除対策及び被害拡大対策の強化を図る。	成果指標	☐ 全て達成 ☒ 一部未達成 ☐ 全て未達成			成果指標	☐ 全て達成 ☐ 一部未達成 ☐ 全て未達成
		・「建築物等の適切な管理による生活環境の保全に関する条例」に基づき、いわゆる「ごみ屋敷」の原因者に対し、立入りや指導書による指導を行うとともに、関係機関と連携を回り指導の強化を図る。	【基本事業の取組方針達成状況】				【基本事業の取組方針達成状況】	
		・空き地の適正管理などの生活環境の保全等については広報さの、市ホームページにおいて啓発を行うとともに、原因者への指導等を行った。	・栃木県クビアカツヤカミキリ被害対策協議会等と連携して、チラシ配布等により拡大防止と駆除等の情報提供を行った。				【成果指標達成状況】	
		・水道水未普及地域に対しては、補助制度を活用し、飲用水の安定的な確保に努め、1件の交付申請があった。	・いわゆる「ごみ屋敷」の原因者に対し、条例に基づく指導を行った。					
		【成果指標達成状況】	・事業所への立入調査数44件と空き地、野外焼却、飼い犬等のふん 以外の近隣公害件数61件が目標未達成となったが、2項目以外の成果指標は目標を達成した。					

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等				施策の成果向上に向けての役割分担		
	・福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の国による「汚染状況重点調査地域」指定が、平成28年3月31日で解除された。 ・議会及び近隣住民から、いわゆる「ごみ屋敷」の解消に向けた取組が求められている。 ・特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」による被害が拡大している。 ・令和元年東日本台風の水害の影響により、以前にもまして、水道未普及地域への支援等が求められている。 ・新型コロナウイルス感染症予防対策に伴う外出自粛や休業要請等により、空き地の適正管理や適時の公害パトロール等が行いづらい状況となっている。	市民	事業所	行政	・野外焼却、ポイ捨て等を行わないなど近隣住民の生活環境に悪影響を与えないようにする。 ・空き地の管理を適正に行う。 ・犬猫等を適正に飼養する。 ・環境美化活動や環境保全活動を行う。	・公害関係法令を遵守し、環境に負荷を与えないように事業活動を行う。 ・企業の社会的責任として環境美化活動や環境保全活動を行う。	・生活環境の保全に関する啓発を行う。 ・大気、水、土壌の汚染状況を監視する。 ・事業所への立入調査や指導を実施する。

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括		今後の課題	今後の方向性
・河川水、地下水、自動車騒音、空間放射線量等については、定期的な測定・調査を実施したほか、無許可、許可済の土砂埋立て現場の監視を定期的に行った。 ・空き地の適正管理、犬猫のふん害防止を含めた適正飼養、野焼きの禁止、事業活動に伴う公害の防止等について、広報さのや市ホームページで啓発を行うとともに、県と協力して公害パトロールを実施し、事業者に対し公害防止の啓発及び指導を行った。 ・特定外来生物の被害拡大の防止及び駆除を図るため、栃木県クビアカツヤカミキリ被害対策協議会等と連携して、チラシ配布等により拡大防止と駆除等の情報提供を行った。 ・いわゆる「ごみ屋敷」の原因者に対し、条例に基づく指導を行った。 ・新型コロナウイルス感染症対策により、田中正造の日 環境フェスタは開催中止となったため、環境美化活動に対する表彰についても見送りとなった。 ・令和3年度の決算額は3億2,530万円となり、令和2年度の決算3億1,671万円と比べ約859万円のとなった。主な要因は元石塚団地下水処理場解体事業費の皆減によるものである。		【令和4年度で解決する課題】 無許可で埋め立てられた土砂対応 【令和5年度以降にも引き継がれる課題】 ①典型7公害(水質汚濁、大気汚染、騒音、振動、悪臭、土壌汚染、地盤沈下)の防止による良好な生活環境の維持 ②市民の環境美化活動への自主的な取組の拡大 ③いわゆる「ごみ屋敷」の解消 ④水道未普及地域での飲用水の安全・安定確保 【令和5年度重点課題】 ⑤空き地の適正管理、野焼きの禁止など事業活動に伴う公害の防止対策と特定外来生物による被害対策	①河川水、地下水、自動車騒音等の定期的な観測・調査を行う。また、県職員と協力し、公害パトロールを実施することにより、事業所から発生する公害による苦情を未然に防止し、良好な生活環境を維持する。 ②地域の環境美化活動に取り組む団体を表彰するとともに、広報さのや市ホームページで紹介し、市民の環境美化活動への自主的な取組の拡大を図る。 ③いわゆる「ごみ屋敷」の解消に向け、関係機関と協力し指導等を徹底して行う。 ④飲用水等給水施設整備費等の補助により飲用水の安全確保をしつつ、安定確保に向けた支援を行う。 ⑤空き地の適正な管理、犬猫の適正飼養、野焼き禁止等について、一層の啓発を図るとともに、苦情の原因者に対しての指導を強化する。また、県、近隣市等と連携し、特定外来生物による被害を最小限に抑える。